

## 四万十市立具同小学校

～栄養満点のお米で地域に笑顔を広げよう！～



農業体験(田植)の様子



販売に向けての米菓子の袋詰作業

## 経緯

- 令和元年度、総合的な学習の時間のテーマとして児童から「地産地消」が挙がり、その声をもとに年間計画を作成し、現在の取り組みが始まった。
- 地域の方々や企業に協力を仰ぎ、年間を通して米作りから加工・販売を行っており、今年で4年目を迎えた。

## 取組内容

- 5年生の児童が地域の方々や市役所等の協力を得ながら農作業(田植・稲刈り等)を体験。
- 授業では、日本の伝統食である米や四万十市の特産品である「しまんと農法米」(環境に配慮した農法で栽培)を学習。
- 収穫した米は精米にするほか、地元の製造会社に加工を依頼し、製造した米菓子を児童自らが地域のスーパーで販売。

## 活動の効果

- 児童は、農作業体験と伝統食の米や地域で実践されている環境に配慮した農業について併せて学ぶことで、より一層理解を深めることができた。
- 児童が自分たちの住む地域のためにできることを考え、成果物にて還元していく良い循環が育まれている。
- 児童は、地域の方とふれあいながら、生産から加工及び販売の仕組みを学習した。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

今後、更に活動を発展させ、「地元の食」を通して、地域に笑顔を届けていくことが児童の願いです。